

日時 令和6年3月19日(火) 13時30分～15時05分

場所 事務局2階 大会議室

【一部の構成員等(※を付した者)はオンラインで出席】

出席者 伊藤(正)学長

鶴原、酒井、吉岡、木下、西岡、田中※ 各理事

池田、佐久間、尾西、今西、富樫、藤田、村田、金子 各副学長

藤田(伸)、伊藤(信)、堀、森、松村、諏訪部 各学部長・研究科長

遠山、秋元、野阪、久保、神原 各評議員

欠席者 小林副学長

陪席者 服部、小川 各監事

企画総務部長、財務部長、学務部長、施設部長、研究・地域連携部長、国際・情報部長、

医学・病院管理部長

企画総務部総務チーム

◎前回議事概要の確認

学長から、事前に照会した令和5年度第13回教育研究評議会議事概要(案)について、資料のとおり記録に留めたい旨の報告があり、了承された。

I. 審議事項

1. 教員評価制度見直しについて

尾西副理事から、「資料：審-1」に基づき、教員評価制度の見直しに関連し、評価結果を昇給に反映することについて、各学部・研究科から意見等があればご報告いただきたいとの発言があり、それに対し各学部・研究科からは、特段の意見等はなかった旨の報告があった。本件については引き続き評価委員会で検討を重ね、必要に応じて教育研究評議会等にて審議することとなった。

2. 全学会議の見直しによる新会議体制(案)について

木下理事から、「資料：審-2」に基づき、大学研究力の強化につながる教員の研究時間確保と会議に要する人件費等の経費削減を目的とした全学会議の見直しについて、見直し結果の概要説明があった。続いて、鶴原理事、酒井理事、吉岡理事及び木下理事から、教育・学生支援、社会連携、研究・情報及び事務局のそれぞれの領域における新会議体制(案)について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

3. 「三重大学における英語表記の作成に関するガイドライン」について
金子副学長から、「資料：審－３」に基づき、本学における全学組織等の組織名の英語表記について、大学としての統一感を持たせるため、「三重大学における英語表記の作成に関するガイドライン」を作成し、令和６年４月１日に発足する全学組織等については、ガイドラインに従って英語名称を定めることについて説明があった。また、既に組織の英語名称が対外的に定着しており変更が難しい場合などは、部局の意見等を反映して表記を定めることが可能であることについても説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
4. 三重大学伊賀サテライトにおける伊賀連携フィールド事業に関する協定書の締結について
酒井理事から、「資料：審－４」に基づき、伊賀サテライトの機能強化のため、既存の協定及び覚書を整理し、本学、伊賀市、伊賀市文化都市協会及び上野商工会議所の関係４機関で新たな協定を締結することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
5. 三重大学高度情報専門人材育成事業に伴う工学研究科の改組について
吉岡理事から、「資料：審－５」に基づき、「令和５年度大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）」において「三重大学高度情報専門人材育成事業」が選定されたことを受け、令和７年度から工学研究科電子情報工学専攻を新たに設置することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
6. 三重大学研究データ管理・公開ポリシーの策定について
吉岡理事から、「資料：審－６」に基づき、第６期科学技術・イノベーション基本計画において、研究データポリシーの策定が義務付けられていることを受け、研究データの管理、公開及び利活用について規定するため、「三重大学研究データ管理・公開ポリシー」を策定することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
7. 三重大学機構、統括本部及びセンター等教員連絡会について
鶴原理事から、「資料：審－７」に基づき、適切な情報共有を行い、全学会議に課題等の提案を行う場とするため、各機構、統括本部及びセンター等の専任教員を構成員とした「三重大学機構、統括本部及びセンター等教員連絡会」を設置することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
8. 学内共同教育研究施設等の人事について
鶴原理事から、「資料：審－８」に基づき、本学の将来構想や人件費抑制計画等を踏まえた人事計画の推進に向けて、学長及び理事で構成する学内共同教育研究施設等人事委員会を設置し、同委員会にて学内共同教育研究施設等の人事計画の策定及び大学教員の選考等を行うため、規程の制定及び改正を行うことについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

9. 労使協定について（医師の働き方改革対応）

木下理事から、「資料：審－9」に基づき、令和6年4月1日から病院等に勤務する医師に対しても時間外労働の上限規制が適用となることを受け、本学が三重県に申請している特例水準の内容に従い、労使協定の特別条項による限度時間を定めることについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

10. 令和5年度自己点検・評価結果について

尾西副理事から、「資料：審－10」に基づき、「三重大学における内部質保証に関する規程」により、内部質保証推進責任者が実施した令和5年度自己点検・評価結果及び自己点検・評価における改善事項について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

11. 認証評価の受審年度について

尾西副理事から、「資料：審－11」に基づき、国立大学法人評価の受審年度と重ならないよう調整することで業務負荷の分散を図るため、教職大学院認証評価を令和7年度、大学機関別認証評価を令和9年度に受審し、その後大学機関別認証評価は6年サイクルで受審することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

12. 令和6年度の年度計画について

鶴原理事、酒井理事、吉岡理事及び木下理事から、「資料：審－12」に基づき、それぞれの担当領域（教育・学生支援、社会連携、研究及び事務局）における令和6年度の年度計画について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

13. 三重大学動物実験取扱規程及び三重大学動物実験取扱細則の一部改正について

吉岡理事から、「資料：審－13」に基づき、動物実験で扱う種の多様化等を受け、動物を扱う研究計画の円滑な推進を目的として、「三重大学動物実験取扱規程」及び「三重大学動物実験取扱細則」を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

14. 三重大学における日本学術振興会外国人特別研究員に関する規程の改正について

吉岡理事から、「資料：審－14」に基づき、令和5年10月より日本学術振興会の若手研究者雇用支援事業が開始され、日本学術振興会特別研究員のうちPDは常勤教員として雇用することになったことを受け、「三重大学における日本学術振興会外国人特別研究員に関する規程」を改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

15. 三重大学構内における無人航空機の飛行に関する規程の制定について

吉岡理事から、「資料：審－15」に基づき、これまで本学の構内における無人航空機の飛行については全学的な取り決めが存在していなかったことを受け、「三重大学構内における無人航空機の飛行に関する規程」を新たに制定することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

16. 国立大学法人三重大学化学物質管理規程の制定について
金子副学長から、「資料：審-16」に基づき、本学における化学物質管理体制に不十分な点があったこと及び令和6年4月より薬品管理システム（CRIS）が本格稼働することを受け、「国立大学法人三重大学化学物質管理規程」を新たに制定することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
17. 国立大学法人三重大学事務組織規程の一部改正について
木下理事から、「資料：審-17」に基づき、全学センター等組織の見直しに伴い、「国立大学法人三重大学事務組織規程」を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
18. 国立大学法人三重大学における障害を理由とする差別の解消の推進に関する規程及び留意事項の一部改正について
木下理事から、「資料：審-18」に基づき、令和6年4月1日より障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の改正法が施行されることを受け、「国立大学法人三重大学における障害を理由とする差別の解消の推進に関する規程」及び留意事項を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
19. 人事労務に関する規程等の改正について
木下理事から、「資料：審-19」に基づき、法令等の改正や関係各省からの指導等を受け、附属学校園教員の給与改定、医師の働き方改革における健康確保措置の導入や看護助手に係る特別調整手当の支給等に関する規程等の改正を行うことについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
20. 全学センター等組織及び全学会議の見直し等に係る諸規程の新規制定、一部改正及び廃止について
木下理事から、「資料：審-20」に基づき、全学センター等組織の見直し、全学会議の見直し及び執行部体制の変更等に伴い、関係規程等の新規制定、一部改正あるいは廃止を行うことについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
21. その他
なし

II. 役員会報告

1. 令和5年度第25・26・27回役員会について
学長から、令和5年度第25・26・27回役員会について、「資料：役-1、参考1、参考2、参考3」に基づき、報告があった。

Ⅲ. 報告事項

1. 令和6年度学内予算配分案について

木下理事から、「資料：報－1」に基づき、限られた大学の資源を効果的かつ効率的に成果の創出に結びつけるため、「大学成長推進経費」を確保し、研究・社会連携マネジメント機能の強化、地域共創の推進及び研究力強化に資する取り組み等を積極的に支援することに主眼を置いた予算配分を行うことについて報告があった。

2. 令和7年度科研費応募のための支援制度の実施について

吉岡理事から、「資料：報－2」に基づき、令和6年度科研費応募の審査結果を受け、基盤研究（B）に加え、令和7年度は基盤研究（C）の応募者についても積極的に支援を行うことについて報告があった。

3. 戦略的リサーチコアの認定について

吉岡理事から、「資料：報－3」に基づき、学長・理事・副理事の下で申請書類、各評価指標の分析データ、代表者によるプレゼン審査及び令和6年度科研費の保有状況等の内容を総合的に評価した結果、戦略的リサーチコア（重点ユニット）として4件を認定したことについて報告があった。

4. 地域拠点サテライト活動の方向性について

酒井理事から、「資料：報－4」に基づき、令和6年度からの地域拠点サテライト活動の方向性について、地域拠点サテライトが果たす3つの機能を明示したことや、新たに松阪多気サテライトを設置すること等について報告があった。

5. 津地方気象台と三重県・三重大学みえ防災・減災センターとの連携・協力に関する協定の締結について

酒井理事から、「資料：報－5」に基づき、本学と三重県が共同で設立した「三重県・三重大学みえ防災・減災センター」と津地方気象台との間で、地域防災力の向上を目的とした連携・協力協定を締結することについて報告があった。

6. 国立大学法人三重大学旅費規程の一部改正について

木下理事から、「資料：報－6」に基づき、円安や物価高、インバウンド需要の高まりに伴い、国内・海外ともに宿泊施設の価格が高騰していることを受け、教職員の負担を軽減するため、「国立大学法人三重大学旅費規程」を一部改正することについて報告があった。

7. 事務系職員の人件費抑制について

木下理事から、「資料：報－7」に基づき、事務系職員に要する人件費の抑制計画について報告があった。

8. 「デコ活CMU」の実施について

金子副学長から、「資料：報－8」に基づき、夏季における「デコ活CMU（適切な空調温度設定等による省エネルギー行動の励行）」について協力依頼があった。

9. 令和6年度役員・副学長・学長補佐等体制（案）について

学長から、「資料：投影」に基づき、令和6年度の役員・副学長・学長補佐等体制（案）について報告があった。

10. その他

なし

以上